

# 子ども・若者の参画による 復興まちづくり

— ドイツの子ども参画の事例を被災地に活かす —

これからのまちづくりには子ども・若者の参画が欠かせないといわれています。ドイツで長年子どもの参画に携わってこられたハイデ・ローゼ・ブルックナーさんを迎えて、「子どもの参画とは」、「子どもにやさしいまちとは」など、ドイツの先進的な事例をお聞きします。また、「子ども・若者の参画による復興のあり方」を日頃ボランティアで子ども会のリーダー活動をしている中高生の「ジュニアリーダー」と一緒に考えます。

●期日：2012年7月27日（金）18：00～20：30

●場所：仙台市青年文化センター 交流ホール

宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5 TEL022-276-2110

入場無料

●基調講演18：00～19：00

「子どもにやさしいまち」 ハイデ・ローゼ・ブルックナー博士

元 DKHW ドイツ子ども支援協会事務局長、メルケル首相とも深い親交があり、4月からドイツ連邦・ドイツ子ども支援協会・ユニセフで“Kinderfreundliche Kommunen”（ドイツ子どもにやさしいまち（市町村））という新組織を立ち上げ、その代表に就任し、ドイツ内での子どもにやさしいまちの推進に励む。

●シンポジウム19：00～20：30

「子ども・若者の参画による復興まちづくりを考える」

パネリスト：ハイデ・ローゼ・ブルックナー博士

郡 和子 衆議院議員・復興大臣政務官宮城復興局担当

木下 勇 千葉大学大学院教授・専門都市計画

仙台市ジュニアリーダー

コーディネーター：新田新一郎 子どもの笑顔元気プロジェクト代表

ハイデ・ローゼ・ブルックナー博士は1989年頃からシュレースヴィグ・ホルスタイン州での子どもの参画の指導にあたってきた。いくつかの市町村で子どもの参画に取り組み、その一つであるシャッフルンド村では子どもの参画で「子どもにやさしい村」を掲げて子どもの人口が増えた。この写真は子ども参画で改善した校庭。



●主催 / お問い合わせ：子どもの笑顔元気プロジェクト NPOみやぎ・せんだい子どもの丘  
宮城県仙台市青葉区北山2-1-16 201 TEL022-276-8840/e-mail Kai2@alpha.ocn.ne.jp